

# アメリカ留学

国際学部 2年 野中 喜勢

私は2015年7月26日から12月20日までの約4か月間、アメリカ合衆国のミズーリ州にあるノースウェスト・ミズーリ州立大学に語学留学に行きました。日本とアメリカの時差は約14時間あり、距離は遠いと知っていましたが、飛行機の乗り継ぎも含め長い時間飛行機に乗っていたのでアメリカに着いてからは時差ボケがあり、その生活に慣れるまで時間がかかりました。アメリカに着いてからは当たり前ですが全てが英語で、聞き取ることも話すことも出来ずこれから始まる4か月間が不安で仕方ありませんでした。

## \*Class

私たちはESL (English as a Second Language) という英語を母国語としていない人たちが英語を学ぶ語学研修を他の国から来た学生と一緒に学びました。クラスには韓国人、中国人、サウジアラビア人がいて、みんなフレンドリーでおもしろい人たちばかりだったので授業が受けやすかったです。そして、授業で困っているときにはジェスチャーなどを使い、丁寧にわかりやすく説明をしてくれて、たくさん助けてもらいました。一緒に授業を受けていて思ったことは、日本人はあまり発言をしないということです。留学に行く前から、日本人は消極的な性格の人が多いいことは知っていました。そのため、自分はアメリカに行ったら積極的に自分から話しかけたり、手を挙げたりしようと思っていました。しかし、いざ行ってみると消極的になってしまい自分から話しかけたり、手を挙げたりすることが出来ませんでした。他の留学生は自分の思ったことをすぐに発言したり、理解できなかつたりしたところは手を挙げて質問をしていました。しかし、日本人の場合は間違えることに不安があり、完全に自分の答えが合っていると確信しないと手を挙げませんでした。間違えてもいいから手を挙げなくてはいけないという気持ちはありましたが、なかなか手を挙げる事ができませんでした。ですが、次第に周りの留学生たちに影響され、みんな発言するようになりました。日本人は答える前に深く考えすぎてしまい、答えがわかっているのに結局発言しないということが多くあります。これでは何も成長しないので、深く考えずに間違ってもいいので自分が思ったことをそのまま発言することが大事だと思いました。

授業はReading / Writing, Listening / Speaking, Grammar, Culture, TOEIC がありました。始めは聞き取ることだけで精一杯でついていくのに必死でした。そのため、授業中に先生から問題を問われてもわからなかつたり、答えに自信がなく、手を挙げる事が出来ませんでした。ですが、次第に少しずつ聞き取れるようになり、自分から手を挙げて答えることが出来るようになりました。また、課題の量が日本に比べてものすごく多く、ほとんど毎日単語テストがありました。そのため、図書館が閉まるまで図書館で勉強をしたり、寮で友達と夜遅くまで勉強をして、寝るのはほとんど毎日12時を超えていました。しかし、この

おかげで自分のボキャブラリーが増え、授業が理解しやすくなりました。また、理解できない所は先生がわかりやすいように説明してくれたのでとても助かりました。授業で一番苦手だったことは、グループでの話し合いです。自分の文法が合っているのかという心配や、それが伝わらなかつたらどうしようという不安から、なかなか自分の意見を言うことが出来ませんでした。しかし、そんな時グループのメンバーや先生が私にわかるように説明してくれたり、助けてくれたりして、私が答えやすい環境をつくってくれました。先生たちがおもしろくて優しい方たちばかりだったので、理解しやすくてとても楽しく授業を受けることができました。後期の授業に入ってから、週 1 で授業が終わったあとに現地の学生が一人で 1 時間勉強を教えてくださいました。授業でわからなかったところなどを聞き理解することができ、リスニング力も上げることができました。



#### \* Conversation Partner

授業とは別で Conversation Partner という週に 2 回それぞれ 1 時間ずつアメリカ人の学生 1 人に対し ESL の学生 2~3 人程度で英会話をする時間がありました。この時間には、アメリカと日本のいろいろな類似点や相違点について話しました。その他に、イベントや自分たちの好きなことなどを話したり、ゲームをしたりしました。始めの頃は、相手の言っていることも聞き取れず、自分の言いたいことも言えない状態でした。そのため、この時間を苦痛の思うてしまうことがありました。しかし、この時間は絶対に話さないといけない環境だったので、自分がわかる最大限の文法や単語を使って頑張って話をしました。そのおかげで次第に会話が出来るようになり、苦痛だと思っていたこの時間がとても楽しい時間になりました。私の Conversation Partner は 22 歳のアメリカと韓国のハーフの女性で、日本のこともいろいろ知っていて、話が盛り上がり楽しく話すことができました。私が理解できなかったときには、簡単な単語に言い換えてくれたり、理解できるまで説明してく

れました。また、私が言いたいことが言えず沈黙になってしまった時には、一生懸命理解しようとしてくれました。どんな時も嫌な顔をせず、笑顔で対応してくれるとても良いパートナーでした。本当に彼女のことが大好きです。この時間は自分が成長できたいい機会になったと思います。

### \*Holidays

休日は勉強をしたり、ジムに行きバドミントンやバスケットなどの運動をしたり、パソコンで映画を見たりとのんびり過ごしました。その他にイベントに参加したり、友達と近くのお店まで歩いて買い物に行ったり、**Conversation Partner** や **FIS** ファミリーと出掛けたりしました。**Conversation Partner** とは、タイ料理やメキシコ料理を食べに行きました。また、**Field trip** という現地学習のようなものがあり、**ESL** のみんなで出掛ける機会が2回ありました。その時には、動物園に行って日本では見ることの出来ない動物を見たり、博物館に行っているような作品を見たり、ショッピングをしたりしました。この **Field trip** で **ESL** のメンバーと距離を縮めることができました。



### \*Events

私がアメリカに行って驚いたことは、イベントが多いことです。学校があるにも関わらずほとんど毎日夜にイベントがありました。それらのイベントにはたくさんの学生が参加し、一緒に音楽に合わせてダンスをしたり、フットボールを観戦したりしました。大きなイベントとしては、**Halloween** や **Christmas**, **Thanksgiving day** などがありません。Christmasにはパレードがあり、とてもきれいで感動しました。**Thanksgiving day** には5日間 **FIS** ファミリーのお家にホームステイをしました。**FIS** ファミリーの人の職場に行ったり、一緒にアップルパイを作ったりしてとても楽しく過ごすことができました。1番印象に残っているイベントは **Halloween** です。たくさんの子どもたちが **Maryville** の街を魔女、妖精、その他にもミニオンなどの様々なキャラクターに仮装しながら歩いてお菓子をもらっていました。また、私たちも仮装をし、パーティーに参加していろいろなゲームを楽しみました。

その他にも、カボチャでジャック・オー・ランタンを作り、とても上手くできあがりしました。私は Halloween で仮装をしたり、ジャック・オー・ランタンを作ったりすることは初めてで、とても楽しく良い経験をすることができました。



### \* Conclusion

留学に行く前は、VISA を用意することや、その他の事前準備が大変だったり、自分がアメリカに行ってやっていけるのかなど、色々な不安がありました。でも今は、アメリカに留学することができて本当に良かったと思っています。私は留学して 2 か月経ったときに、周りのみんなは成長しているのに自分だけ何も成長できていないという焦りや自分への苛立ちなどから、本当に辛い時期がありました。泣きたくなくても自然と涙が出てきてしまうような状態でした。そんなとき助けて支えてくれたのはいつも一緒にいる友達でした。慰めの言葉など元気が出るような言葉をかけてくれたり、アドバイスをくれたりしました。そして、わからない所は教えてくれたり、勉強にも付き合ってくれました。その他に、私が弱音を吐いたときや、私自身の中で甘えが出てきてしまったときには注意をしてくれて、私にやる気を出させてくれてとても良い刺激を与えてくれました。きっと友達がいなければ私は成長することができず、時間を無駄にできてしまったと思います。一緒に頑張ったり、楽しんだりしてくれる友達がいてくれて本当に良かったです。本当に友達には感謝しています。アメリカに留学して初めての経験ばかりで、日本では絶対に経験することが出来ないような貴重な体験をたくさんすることができました。そして、現地の人やいろいろな国から

来ているたくさんの人に出会い、様々な文化や文化以外にも私が知らなかったことを知ることができ、この留学を通して多くのものを得ることができました。そして、日本の良さも伝えることが出来たと思います。私はこの留学を通して、語学の部分でも精神的な部分でも大きく成長することが出来たと思っています。私がそう思えるのは、アメリカで私たちに勉強を教えてくれた先生たちや、ESLの学生、一緒に留学に行った NUIS のみんな、その他にも現地で私たちのサポートをしてくれた人たちや、アメリカで出会ったすべての人たちのおかげだと思っています。そして、アメリカに留学に行けるようにサポートしてくれた人たちや、一番は留学に行かせてくれた家族に感謝しています。支えて背中を押してくれた人たちがいたからこそ、私はアメリカに留学することができ、成長することができました。アメリカに着いたばかりの頃は 4 か月間がとても長いと感じていました。しかし、自分でもびっくりする位この 4 か月間はあっという間な時間で、最後の 1 か月は本当に過ぎるのが早く感じました。たくさん素敵な人たちに出会うことができ、様々なことを学ぶことができました。この経験は一生忘れることの出来ない夢のような時間です。またいつかミズーリに行きたいです。

最後に、一緒にアメリカに留学した NUIS のみんなに本当に感謝しています。色々な場面でたくさん助けてもらいました。このメンバーで留学に行くことができ本当に良かったです。